

「大関和の書簡を読む ある派出看護の記録」開催要項

1 展示概要

明治44年、大関和は生まれ故郷の黒羽（現大田原市）の遠縁の家からの依頼で、東京から看護婦を派遣しました。そのきっかけを作ったのは、大関看護婦会に一本の電話を掛けた大野ウノ。黒羽小学校の教員で、唱歌教育の必要性を説き、「コレラ病予防の歌」を広めた人物です。書画を嗜み、渡米経験もある多才な女性で、篤志看護婦としても活動しました。

今回の特別展示では、当時の派出看護の様子や、大関和の周囲への細やかな気配りを今に伝える自筆書簡3通を中心に、旧黒羽藩ゆかりの個人蔵の貴重な資料を特別にお借りして、当館の関連資料とともに展示します。書簡に書かれた内容を丁寧に読み解くとともに、知られざる才女・大野ウノや、黒羽の文化や風土についても取り上げます。

2 会 期 令和8(2026)年7月8日(水)～7月22日(水) 9:00～17:00

3 会 場 栃木県立図書館 1階ホール

4 関連行事

トークイベント 「大関和の自筆書簡を読む ～ある派出看護の記録を辿って～」

講師：大沼美雄氏 郷土史家・大田原市文化財保護審議会会長

概要：大関看護婦会が黒羽で行った派出看護の実際の様子など、書簡の読み解きを中心に、この依頼のきっかけを作った大野ウノのこと、和とウノの生まれ故郷である黒羽藩の文化や風土のことなど、展示資料について理解を深めるお話をお伺いします。

日時：令和8(2026)年7月18日(土) 14:00～16:00 (13:30開場)

会場：栃木県立図書館 1階ホール

定員：40名 (事前申込による先着順)

申込方法：申込書による申込 (栃木県立図書館窓口またはFAX)

申込フォームによるWeb申込 <https://forms.cloud.microsoft/r/sQEynQwLrR>

参加費無料



5 問合せ先 栃木県立図書館資料課 TEL 028-622-0105